

朝 礼 拜 順 序 (午 前 10 時 半)

	前 奏	司式 熊田雄二 牧師
	開 会 招 詞	奏楽 森永美保 姉妹
* 賛 美 歌	6 我らの御神は (讃美歌15)	
* 開 会 祈 禱		
罪 の 告 白	祈禱書 2	
罪の赦しの宣言		
十 戒	祈禱書 4	
* 賛 美 歌	54 御神の言葉を (讃美歌387)	
公 同 の 祈 禱	祈禱書 6 ニケア信条・牧会祈禱	
献 金	(黒) 教会活動 (赤) 東部中会伝道回転基金 70	
<u>毎週の礼拝献金については、会堂での礼拝再開時に、まとめてお捧げください。</u>		
毎月の教会献金(月定)についても、会堂での礼拝再開時に、まとめてお捧げください。		
聖 書 朗 読	エフェソの信徒への手紙 5章 21~33 節 (新約358頁)	
説 教 ・ 祈 禱	信条②「神への愛の告白」	熊田牧師
* 賛 美 歌	30 いとも尊き主は降りて (讃美歌191)	
* 主 の 祈 り	祈禱書 1	
* 頌 栄	64 み恵みあふるる (讃美歌540)	
* 祝 禱		
後 奏		
報 告		長老

【日本キリスト改革派教会創立宣言 抜粋】

神だけが明らかに知っておられる、いわゆる「見えない教会」は、全世界にわたり、過去、現在、未来の全歴史を通じ、地上と天上とを貫いて、聖なる唯一の公同教会として存在する。しかしながら、我らは、地上において、見えない教会の唯一性が、一つ信仰告白と、一つ教会政治と、一つ善き生活とを備える「一つの見える教会」として具現されるべきであると確信する。これが、日本キリスト改革派教会の主張の第二点である。……

「このように、我らは、一つの見えない教会を、一つ信仰告白と一つ教会政治と一つ善き生活とによって、「一つの見える教会」として具現し、これをもって唯一の聖なる公同教会の枝である事実を確信させられ、我らの救いの確かさを立証することを願うものである。各地に散在する個々の教会の統一は、あくまでもこれら三つの一致性に基づくべきであり、またこの三点は相互に深く論理体系的に関連するがゆえに、教理と政治と生活は一元的である。

以上の略述によって明白に言うべきことは、我が日本キリスト改革派教会は、いささかも、いわゆる分派的精神によるものではないということである。正しい道に従って成る教会の公同性、一致性は、我らの最も重んじるところであり、我らの教会観の真髄である。・・・

改革派教会は、宗教改革の原則を首尾一貫して主張する、真の福音主義（エヴァンゼリカル）であるばかりでなく、さらに、真正な公同性（カトリック）と正統性（オーソドックス）をも保有するものであり、聖書的、使徒的教会の再現を標ぼうする教会である。英米において長老教会と呼ばれる教会は、すべてこれに属する。

【次週朝拝】 エフェソ書1章20-23節
教会規程①政治規準①「神の右に座すお方」 熊田雄二牧師
ソングシート 7(讃美歌24)、 46(讃美歌332)、
26(讃美歌164)、 64(讃美歌540)

5月	CS幼少	CS中高	CS成人	朝 拝	子供/ジュニア	夕 拝
31				熊田牧師		

朝拝説教はインターネット動画（HPより）・メール配信あるいは郵送します

☆ 13日、番場駿也・のぞみ夫妻に次女「豊麦(ふみ)3178g」誕生。お祈り感謝します。

2020年4月17日

日本キリスト改革派教会
東部中会及び東関東中会
議長殿、議員各位様

基督改革派日本伝道会代表
ローレンス・スパーリンク

復活の主イエス様に栄光がありますように。

皆様、本来は定期会の議場でご挨拶することになっていましたが、新型コロナウイルスの流行に伴い延期になったので、文書によって一言の挨拶と励ましをお伝えします。試練の時とはいえ、新しい形の教会の営みと伝道のわざに励んでいらっしゃると思います。予想はできませんでしたが、全てを支配しておられる神、主権者でいらっしゃる私たちの父なる神様の御手のうちに守られていることと確信しています。

罪によって無に服する被造世界であり、背くものに現れている神様の怒りがあると私たちは理解しています。罪を嘆き悲しみ、悔い改めの思いを新たにすべきとはいえ、全てのことをご自分の栄光とその民の益としてください。確かに、恐ろしいことが今現れています。『暗黒の中を行く疫病も、真昼に襲う病魔』があっても、主を畏れる私たちには確かな救いがあり、主の支えと導きをおおぎみます。確かに、教会堂の壁をはるかに超えて、福音が新しい勢力で、今まで届けることができなかった多くの人に行きわたっています。新しい試みもいろいろあり、慣れない技術と労働力がかかっていますが、主が決して私たちの努力を敗北に終わらせることなく、ご自分の教会を建て、御国を来たらせてください。こんな時に、不便さと気になることもあるのですが、皆様とご一緒できますこと、ともに励むことができますことを幸いに思っています。

いつか再び同じ空間で顔を合わせて、ともに賛美できる時が来ると待ち望みます。御霊の助けを得て試練に耐え忍び、様々な方法によって主の民を励まし、こんな時にこそ主を救い主と信じ、教会にあたらしく入ってくる民が大勢起こされますように。

ミッションに祈祷課題があり、覚えていただければと願っています。報告活動のためにただいま米国に行って、5月の末ごろ日本に戻る予定のケン・リー宣教師夫妻がいつ日本に戻るかはわからない状態です。また、皆様の諸教会もそうであるように、経済的混乱状態のこの時に、ミッションの財政的安定が脅かされています。新人宣教師の募集も今、凍結状態です。RCJの定期大会が中止となったように、同時期集まる予定だったCRCのシノッドもキャンセルになりました。他にもありますが、お祈りください。私たちもRCJの皆様のために、皆様とともに祈っています。

役員誓約事項2「あなたは、私たちの教会の信仰規準を、聖書の真理を体系的に示すものとして誠実に受け入れますか。」日本キリスト改革派教会は、ウエストminster信条=信仰告白・大教理問答・小教理問答が、聖書の教理体系を最も完備しているので、我らの教会の信仰規準としました。

I ウェストminster信条に至るまでの信条の歴史

【日本キリスト改革派教会創立宣言抜粋】

神だけが明らかに知っておられる、いわゆる「見えない教会」は、全世界にわたり、過去、現在、未来の全歴史を通じ、地上と天上とを貫いて、聖なる唯一の公同教会として存在する。しかしながら、我らは、地上において、見えない教会の唯一性が、一つ信仰告白と、一つ教会政治と、一つ善き生活とを備える「一つの見える教会」として具現されるべきであると確信する。これが、日本キリスト改革派教会の主張の第二点である。】

「聖なる唯一の公同教会」というのは、きょうの聖書箇所で言うと、やがて花婿キリストが再び来られる時には、一人の花嫁となる教会のことです。この一つ教会の理想をめざそうというのが創立宣言です。神様には見えても私たちには見えないから、この世で教会一致の努力をするのはやめようというのは、創立宣言ではないのです。ただし、教会が分裂したり派閥ができたことには訳があるのですから、やみくもに一つになろうというのではありません。

① 分裂のいちばん大きな原因が信条でした。古代カトリック教会は、西方のローマ・カトリック教会と、東方の正教会（ギリシャ正教・ロシア正教など）に分裂しました。原因は、今朝、『祈祷書』の6番「ニケア信条」を告白しましたが、その「フィリオクエ論争」と言われるものです。

「聖霊はみ父と御子とより出で」が西方のローマ・カトリック教会、「聖霊は御父より出で」が東方の正教会です。今朝読んだ「ニケア信条」では「聖霊はみ父と御子とより出で」となっています。つまり、プロテスタント宗教改革は、西方のローマ・カトリック教会で起こった出来事なのです。

西方と東方の違いは、「御子とより」があるかないかの違いで、ラテン語で「フィリオクエ」と言うので「フィリオクエ論争」と言われます。「御子とより」があると、聖霊はキリストによっても派遣されるのですが、「御子とより」がないと、聖霊はキリスト抜きに神から直接派遣される可能性があります。すると、神の霊が私に降ったという神秘的な人が出てくる可能性が高くなります。

「御子とより」があると、聖霊はキリストによっても派遣されるので、キリストを証する聖書と密接な関係で働いていくことになります。「聖書のみ」のスローガンを持つプロテスタントは、理屈から言っても、西方のローマ・カトリック教会の「ニケア信条」を受け継ぐことは明白です。ただし、プロテスタントからも、「神の霊が降って啓示を受けた」という神秘的な人が出てきたことは、覚えておかななくてはなりません。

② 次に信条で起こった大きな分裂は、西方のローマ・カトリック教会内で起こったプロテ

スタント宗教改革です。

人が救われるのは信仰によるか行いによるかという論争ですが、事の起こりは、罪の償いを免じる免償札、いわゆる「免罪符」の問題です。ローマ・カトリック教会の神父だったマルチン・ルターは、ローマ・カトリック教会を改革しようとしたのです。ただ、ローマ・カトリック教会が免罪符を売ったのは、一時期だけです。ローマのバチカンに大聖堂を造った時です。システィナ礼拝堂の借金返済の時期です。

しかし、罪の赦しには自分で償う必要もあるという教義自体は変えませんでした。そこで、「救いの恵みは信仰のみ」という信仰告白が、必然的にプロテスタントを誕生させることになりました。ルターは、ローマ・カトリック教会を改革しようとしたのですが、宗教裁判の結果、異端とされたので、ルターに賛成する人たちと宗教改革運動をすることになったのです。

宗教改革時代、まず、改革されたのは礼拝の改革です。とりわけ聖餐式です。カトリックの聖体拝領をやめて聖餐式を行うわけですが、免罪符を持ってきて「罪の償いを済ませました」と言う人を聖餐式にあずからせるわけにはいきません。そこで、陪餐停止か停止でないかという、戒規の聖書の規準が必要だったのです。

それから、プロテスタントは、教会政治の仕方で監督制、長老制、会衆制と三つに分けられました。英国国教会の聖公会などは監督制、改革派や長老派は長老制、バプテストなどは会衆制です。そこで、創立宣言は、この世で一致するためには三つの原則があるとしました。

「このように、我らは、一つの見えない教会を、一つ信仰告白と一つ教会政治と一つ善き生活とによって、「一つの見える教会」として具現し、これをもって唯一の聖なる公同教会の枝である事実を確信させられ、我らの救いの確かさを立証することを願うものである。各地に散在する個々の教会の統一は、あくまでもこれら三つの一致性に基づくべきであり、またこの三点は相互に深く論理体系的に関連するがゆえに、教理と政治と生活は一元的である。

以上の略述によって明白に言うべきことは、我が日本キリスト改革派教会は、いささかも、いわゆる分派的精神によるものではないということである。正しい道に従って成る教会の公同性、一致性は、我らの最も重んじるところであり、我らの教会観の真髄である。...

改革派教会は、宗教改革の原則を首尾一貫して主張する、真の福音主義（エヴァンゼリカル）であるばかりでなく、さらに、真正な公同性（カトリック）と正統性（オーソドックス）をも保有するものであり、聖書的、使徒的教会の再現を標ぼうする教会である。英米において長老教会と呼ばれる教会は、すべてこれに属する。」

そこで、福音主義（エヴァンゼリカル）、公同性（カトリック）、正統性（オーソドックス）を目指して改革していくのが改革派教会です。カトリックとは「公同の」という意味なので、真のカトリック教会を目指すのが、改革派教会です。ところがこれを、ローマ・カトリック教会から見れば「我々に反抗している、プロテストしている」ということで「プロテスタント」と言われてしまって、今日に至っているのです。

Ⅱ 教会一致の努力 では実際にどのような努力をしているか

① 改革派・長老派がいちばん一致を具現しやすいと言えますが、それでもレベルがあります。レベル1は宣教協力の関係で、スパーリンク宣教師の属する北米キリスト改革派教会(CRCNA)、韓国のいくつかの長老教会、南アフリカ改革派教会の一部です。このレベル1がいちばんやりやすいかと言えばそうでもないことが、女性教職反対の米国正統長老教会(OPC)でした。

レベル2は友好・連絡の関係で、国内・世界の改革派・長老派教会との関係です。会議に招待しての挨拶、会議記録の交換などです。

② プロテスタント福音主義諸教会との交流。これは、教派としての交流より、信徒の交流の方が多くでしょう。「日本国際ギデオン協会」、「靖国神社国営化反対福音主義キリスト者のつどい」、「キリスト者学生会：K GK」などなどです。

③ 上福岡キリスト教協議会。カトリック(ローマ・カトリック)、バプテスト、改革派の三者ですが、これは教会としての交流なので、信条で一致できることを明確にして行う必要があります。基本的には古代信条における一致です。

「使徒信条」=三位一体の神による創造と救いのみわざ

「ニケア信条」=キリストの神性と聖霊の神性を告白

「カルケドン信条」=キリストの二性一人格を告白

私たちの教会が「ニケア信条」と「カルケドン信条」を祈祷書に加えて唱えていることの意味が、ここにあります。

正統的信仰から異端的になる傾向は、宗教改革以後、おもにプロテスタントの神秘主義やリベラリズムで起こりました。古代信条や、宗教改革の信条=ウエストミンスター信条やハイデルベルク信仰問答などから自由になろうというのがリベラリズムです。これは、聖書のみ・信仰のみというプロテスタント宗教改革の信条を否定しようとするだけではありません。古代信条をも否定しようとするので、もはやキリスト教ではないのです。異端と言わねばなりません。

異端にも種類があって、二つの系統があります。一つは、モルモン教やエホバの証人や統一協会など、新しい啓示を受けたという神秘的な教祖による終末預言タイプ。もう一つは、正統的キリスト教が信じてきたこととは違うことを言いたがるタイプです。私が若い頃は、このタイプがたくさんいて、教会からも神学校からも離れて行った者が多くいました。

Ⅲ 「われらは信ず」と「われは信ず」

本日の聖書箇所によると、キリストと教会の関係は、夫と妻の関係に例えられています。結婚式でよく読まれる箇所でもあるので、花婿と花嫁の関係とも言えます。そこで、聖書の教えでは、結婚は一夫多妻でもなく、一妻多夫でもないのです。31・32節「それゆえ、人は父と母を離れてその妻と結ばれ、二人は一体となる。この神秘は偉大です。私は、キリストと教会について述べているのです。」

創造の秩序では一夫一婦制です。これがキリストと教会の関係と言われる時、教会は一人

の花嫁です。これは旧約時代の神の民も、新約時代のクリスチャンも、全部含めて、一つの群れが一人の羊飼いのもとに集まる教会です。この世では、人間には見えないけれども、神には見える、一つのキリストの教会です。

信条というのは、教会の信仰告白であって、個人の神学思想ではありません。ですから、ニケア信条のように「われらは信ず」というのが正式な言い方です。正統と異端を分ける、公式の教会会議で決められたのですから、当然、そういう言い方になるでしょう。

使徒信条は、いつ頃から始まって今の使徒信条になったのか、はっきりしないのですが、洗礼を受けるための信仰告白として作られたと言われています。信徒の誓約六カ条というのは、使徒信条くらいの内容です。そこでこれは「われは信ず」、「私は信じます」と個人的な信仰告白の言い方の方がふさわしいでしょう。

そこで、これも信条の本質として、大切な言い方なのです。聖書が神からの愛の告白であれば、信条は神への愛の告白です。「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛して、私たちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。」(第一ヨハネ 4:10) とあるように、神はその独り子をお与えになるほどに、まず私たちに愛の告白をしてくださいました。

それに対する私たちの返事が愛の告白であれば、ばくぜん「私たちは神を愛しています」と言うより「神よ、私はあなたを愛しています」と言う方が、心からの愛の告白となるでしょう。私たちは、礼拝で、「それぞれ」罪の告白をしていますが、「それぞれ」愛の告白もしているのです。ペトロはイエス様から「私を愛しているか」と三度も問われました(ヨハネ福音書 21 章)。今、私たち一人一人にも問うておられます。

日本キリスト改革派教会は聖書真理の体系としてはウエストミンスター信条を採択しましたが、数年経って、ハイデルベルク信仰問答も教育のためには使うようにと決めました。ハイデルベルク信仰問答の特徴の一つは、「あなたは」、「私は」という一人称、二人称の単数形にあります。